

令和元年度

第2回滝川市地域包括支援センター運営協議会

日 時 令和元年11月28日（木）

午後6時00分から

場 所 滝川市役所5階 庁議室

次 第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
 - （1）令和元年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告について
 - （2）平成30年度高齢者実態調査結果報告について
 - （3）令和元年4月～9月認知症初期集中支援チーム活動報告について
4. そ の 他
5. 閉 会

滝川市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

(任期 平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

(敬称略)

関係機関・団体名	委 員 名
滝川市医師会	男澤 伸一
滝川歯科医会	原岡 研二
滝川薬剤師会	池田 吉隆
滝川地域訪問看護ステーション	奥田 亜貴
滝川市社会福祉事業団	佐々木 哲
滝川市民生委員児童委員連合協議会	鈴木 弘子
滝川市町内会連合会連絡協議会	深村 完市
滝川市老人クラブ連合会	窪之内美知代
滝川市社会福祉協議会	橘 弘恭

事務局

保健福祉部長

國嶋 隆雄

介護福祉課長（地域包括支援センター所長）

中川 祐介

介護福祉課長補佐

土橋 祐二

介護福祉課介護保険係長

木村 雅人

介護福祉課介護保険係

大田原 実咲

地域包括支援センター副所長

相澤 理佳子

地域包括支援センター係長

加地 美賀子

平成31年4月～令和元年9月滝川市地域包括支援センター活動報告

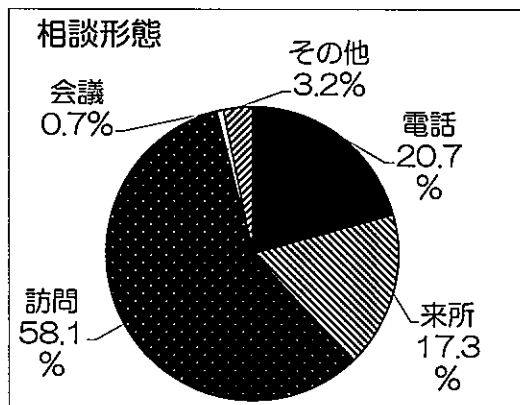
1. 総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続できるよう介護サービスにとどまらない、保健医療福祉の機関又は制度の利用につなげる等の総合的な支援を行った。

(1) 相談件数 (単位：件)

元年度前期	991
30年度前期	848

(2) 相談形態



相談形態 (単位：件)

	電話	来所	訪問	会議	その他	合計
元年度前期	205	171	576	7	32	991
30年度前期	221	124	469	2	32	848

(3) 相談者区分 (単位：件)

	本人	家族	民生委員等	地域団体	医療機関	警察	実態把握	その他	計
元年度前期	182	119	40	111	48	12	472	7	991
30年度前期	139	116	29	141	68	9	340	6	848

(4) 相談内容区分 (重複あり) (単位：件)

	介護日常生活相談	医療に関する相談	権利擁護相談	実態把握	介護予防事業	苦情相談	SOS関連	その他	計
元年度前期	466	38	24	467	10	1	3	88	1,097
30年度前期	465	56	19	337	13	1	3	71	965

(5) 対応内容区分 (重複あり) (単位：件)

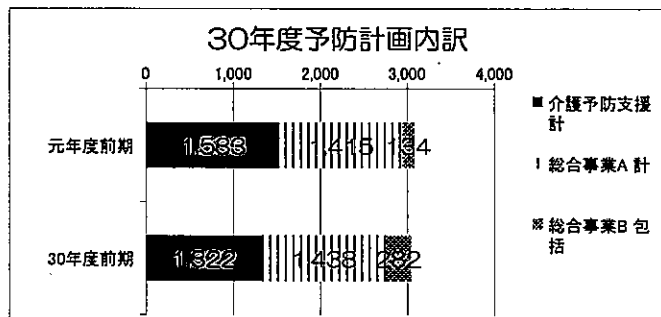
	相談・情報提供	ケース会議	連絡調整	家庭訪問	申請代行	SOS関連	調査訪問	その他	計
元年度前期	685	7	356	143	24	0	428	27	1,670
30年度前期	562	7	256	158	32	1	336	32	1,384

2. 介護予防ケアマネジメント事業

要支援1・2の認定者、総合事業対象者がより自立した生活を送れるために、適切な介護予防サービス等が提供されるよう、予防サービス計画を作成した。

(1) 担当総件数 (単位：件)

	包括	委託	合計
元年度前期	3,085	206	3,291
30年度前期	3,164	83	3,247

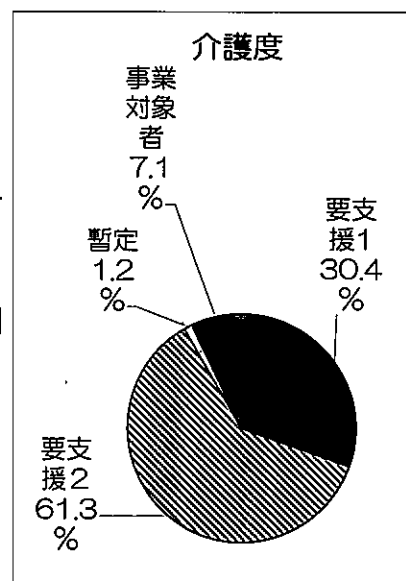


(2) 予防計画作成実績 (単位：件)

	介護予防支援			総合事業A			総合事業B	合計
	包括	委託	計	包括	委託	計	包括	
元年度前期	1,422	111	1,533	1,334	81	1,415	134	3,082
30年度前期	1,274	48	1,322	1,405	33	1,438	282	3,042

平成31年度指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに係るケアプラン作成
委託業務事業所（令和元年9月末現在）

- ・株式会社 ひなたネットワーク
- ・有限会社 ケア・コラボレートK・H
- ・医療法人社団 新緑会 文屋内科消化器科医院
- ・社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
- ・SOMPOケア株式会社
- ・社会福祉法人 旭川福祉事業会
- ・社会福祉法人 滝川市社会福祉協議会
- ・医療法人 徳洲会 介護老人保健施設コスモス介護センター
- ・医療法人 翔陽会 滝川脳神経外科病院
- ・株式会社 ライフデザイン
- ・医療法人社団 順心会 順心会居宅介護支援センター加古川
- ・合同会社 いそしお



(3) 介護度（単位：人）

	要支援1	要支援2	暫定	事業対象者	合計
元年度前期	1,000	2,019	38	234	3,291
30年度前期	870	1,977	27	373	3,247

(4) 担当者会議開催数（単位：回）

元年度前期	572
30年度前期	529

3. 介護予防・日常生活支援総合事業

ますますげんき教室（通所型サービスA）

虚弱状態・要支援の認定を持つ人に対し、閉じこもり・うつ予防や心身機能向上のため、週1回の外出の機会を作り、運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・人との交流を図る。今年度より、三世代交流センターで週2回の実施となった。

ますますげんき教室参加者数(単位：回・人・人)

	開催回数	実人数	延人数
元年度前期	40	27	406
30年度前期	61	60	824

4. 包括的・継続的マネジメント事業

地域の介護支援専門員の指導や支援のほか、高齢者が住みやすい地域にするため、関係機関とのネットワークづくりを行った。

(1) ケアマネジャーの相談窓口

相談件数（単位：件）

元年度前期	7
30年度前期	4

困難事例の相談を受け、必要時同行訪問等行う。

(2) 関係機関ネットワーク会議

在宅・施設・医療等の関係機関に呼びかけ、相談員・介護支援専門員が参加。

偶数月の水曜日に定例で情報交換・事例検討を行う他、関係者向け研修会を実施。

《関係機関ネットワーク研修会》

テーマ：「健康寿命を伸ばす秘訣と方法～食事と運動の深い関係について～」

講師：北海道医療大学看護福祉学部 講師 池森 康裕氏 39人参加

(3) 地域ケア会議

地域の個別事例を通して、地域課題を見つけ解決へつなげるための、地域ケア会議個別会議を月1回を目途に9月末まで6回開催。

高齢者の介護状態の改善や悪化防止へ向け、地域の多様な専門職の助言を踏まえ、一人一人の支援方法を検討する自立支援型地域ケア会議開催に向け、職員向け学習会を2回行い、8月に試行として包括のケアマネージャーが担当している事例のケア会議を2回4事例行う。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療と介護の連携に関する地域の課題を抽出し、その対応策を検討することを目的に、市内の医療・介護に関する関係者が集まる推進会議を開催。
事例検討を通じて、課題の共通認識を図り、課題解決へ向けての対策に取り組む。
会議は5月、8月の2回開催。
- ・今年度は「食べるを支える」をキーワードに、5月には訪問リハビリ理学療法士、8月には健康づくり課栄養士の事例を検討。
- ・事例検討を通じ、口腔機能のアセスメントの重要性が再認識され、介護職がチェックできる口腔アセスメントシートを検討中。

(5) 生活支援体制整備事業

- ・高齢者が増加する中、多様な生活支援・介護予防サービスを利用できるような地域づくりをめざす。生活支援コーディネーターが基盤づくりのために、地域住民の集まりに参加し情報収集と支え合いの重要性の説明を行う他、地域の活動支援、先進地視察や他市町村のコーディネーターとの情報交換を行う。
- ・支え合い通信の発行（4月、8月）、ホームページを作成し、活動報告を行っている。
- ・5月に第一層協議体となる「滝川支え合い会議」を開催。平成30年12月に設立した東滝川サポートセンターの活動報告、第二層協議体と位置付ける小学校区毎のメンバーによる顔合わせと情報交換を行う。
- ・北海道医療大学看護福祉学部工藤禎子教授の「地域住民の共助による高齢者の減災をめざした介入と評価」に関する研究に協力、小学校区ごとに減災への備えと近隣との共助の意識向上へ向けた介入、調査を行う際に、第二層協議体参加へつながるよう地域住民に働きかけを行う。

生活支援コーディネーター活動状況（単位：回）

	事業説明	小学校 地区会議	他市町 情報交 換 視察	研修 会・ 講演会 関連	地域団体 交流会 共生型	老人 クラブ 体操教 室	認知症・ 介護者 支援関連	その他	計
元年度前期	2	74	17	5	16	61	18	79	272
30年度前期	3	69	8	25	0	43	23	115	286

6月13日「東滝川見守り支え合い研修会」（北海道医療大学・滝川市包括連携事業）

テーマ：東滝川の見守り・支え合いについて

講師：北海道医療大学・看護福祉学部 准教授 工藤 禎子（よしこ）氏 46人参加

5. 認知症対策関連事業

(1) 認知症予防講座

老人クラブを巡回し、脳活性化につながるメニューを実施。今年度は音読を中心に行う。
15回 239人参加。

また、町内会婦人部に対し認知症ガイドブックを使った予防講座を実施。2回 36人参加。

(2) 物忘れ相談プログラムによる認知症チェック

物忘れ相談プログラムを活用し、物忘れの自己チェックや認知症に関する知識の普及啓発を図る。

物忘れ相談プログラム実施数（単位：回・人）

	地域体操教室・町内会・老人クラブ		認知症カフェ		市役所ロビー・保健センター・市立病院		合計	
	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数
元年度前期	15	172	2	2	1	41	18	215
30年度前期	1	11	0	0	5	63	6	74

今年度は4年ぶりに老人クラブ巡回時に行ったため、実施回数人数ともに増えている。

(3) 物忘れ相談

物忘れが気になる方や病院へ行くほどではないと思っている方などに、予約制の個別相談を実施。物忘れ相談プログラムより詳しいプログラムを実施。必要時、受診勧奨等行う。
月1回の物忘れ相談の他、後期高齢者の通知に案内を同封。64人が利用、認知症が疑われる9人のうち、3人が専門医受診、6人は再検査を予定している。

(4) 認知症カフェの開催

認知症の人やその家族、地域住民、専門職が、気軽に集まり認知症や介護について意見交換できる「認知症カフェ」を開催。市内のグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅と家族会で月1回開催。

認知症カフェ参加数（単位：回・人）

	ともだちカフェ		カフェあけぼの		にんかふえ		地域のお茶会inコスモス		駅カフェ	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
元年度前期	5	147	5	122	6	280	6	169	6	464
30年度前期	6	214	5	136	6	310	6	189	5	382
										合計
										回数 参加数
										28 1,182
										28 1,231

- ・認知症カフェ運営講座（朝日新聞厚生文化事業団主催）

参加者141人（うち滝川市民58人）

講演：「認知症カフェを地域資源に～運営のポイントとこれから大切にしたいこと」

講師：藤田保健衛生大学医学部 認知症・高齢診療科教授 武地 一氏

実践報告、ワークショップ

(5) 認知症啓発月間活動

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて、9月を認知症啓発月間と位置付け、各種事業を展開。

- ・認知症に関する普及啓発事業

9月2日～21日まで、市役所に認知症を予防する生活習慣についての展示を行う。

9月6日に認知症クイズ、物忘れ相談プログラムを行う。

- ・認知症を理解する市民講演会

テーマ：正しく知ろう認知症 ～診断・治療・日常生活のポイント

講師：滝川市立病院精神神経科医長 亀山 梨絵氏 58人参加

(6) 認知症サポーター養成講座

認知症について、研修を修了したキャラバン・メイトが、認知症についての理解と地域での見守り支援の普及啓発の為、認知症サポーター養成講座を実施。

見守りネットワーク関係団体に案内を送付した他、各種団体の依頼に応じ実施。

今年度前期で5回開催、計227人参加

(7) オレンジ倶楽部

認知症サポーター養成講座を受講した人達の中で、実際に何かの活動をしたいと思う人達を募り、「おれんじ通信」を発行し、認知症の知識や認知症に関する活動を紹介。

「おれんじ通信」の発行（9月）

6. その他の事業

(1) 家族介護者の支援

介護者サロン

家庭で認知症等の介護を行う介護者に対し、介護に関する知識の提供及び介護者同士の交流を通し、心身のリフレッシュ・介護者の疲れの軽減・介護者の悩みの軽減を図ることを目的に開催。介護者とは別室で被介護者を預かる託老も行い、介護者が参加しやすい体制づくりに努めている。

介護者サロン実績（単位：人）

	介護者	被介護者	オレンジ倶楽部	内容
第1回	9	3	7	講話：「高齢者福祉のはなし」
第2回	7	2	6	講話：「財産管理のはなし」
第3回	8	4	6	運動実技：「リフレッシュ体操」 疲労回復料理試食
合計	24	9	19	

(2) 成年後見制度の申し立て支援

市長申し立てに関する相談は4件。うち、調査途中で死亡1件、市長申し立てに至らない事例1件、市長申し立てへ向けて調査中の事例2件

(3) SOSネットワークシステム

徘徊による行方不明者をすみやかに搜索・発見するためのネットワークの構築。

現在の登録実人数は151人。うち、今年度前期新規登録者は6人。搜索依頼2件、1件は無事発見、もう1件はまだ発見されていない。

(4) 滝川市はいかい高齢者等位置探索システム助成事業

今年度前期における新規申請なし。

(5) 高齢者虐待の相談支援 4件

警察からの連絡が多く、現状を確認、関係者と連絡を取り合いながらサービス利用調整や経過観察中。

(6) 出前講座

市民や関係機関の依頼に応じて、高齢者福祉・介護予防等に関する講座を実施。

第1回 6月27日「いきいきと生きて逝くために～自分での最期を考えること～」

江部乙地区民生委員 13人

第2回 7月23日「高齢者虐待防止及び権利擁護研修会」

滝川市社会福祉協議会訪問介護事業所 18人

第3回 8月27日「いきいきと生きて逝くために～自分での最期を考えること～」

一連クラブ 18人

(7)地域リハビリテーション活動支援事業

作業療法士が中心となり、介護予防の取り組みを総合的に支援するために、訪問・事例検討会等へ出席する他、市内の医療・介護施設等で勤務するリハビリテーション職の研修・交流を推進。

7月11日 リハビリテーション職員対象施設見学会（土筆の郷） 22人

7月16日 リハ職ネットワーク会議情報交換会 51人

報告：退院に向けた支援について 滝川脳神経外科病院理学療法士 新屋大輔氏

滝川市の住宅改修福祉用具のリハ職の関与について

介護福祉課作業療法士 村井八恵子

9月6日 リハ職ネットワーク会議 研修会 37人

講義：テーマ「自立支援のための住環境のとらえ方～事例を通して考えてみよう～」

講師：特定非営利法人HPT総括部長 理学療法士 岡田 しげひこ氏

平成30年度 高齢者実態調査 結果報告

平成30年4月現在での75歳以上総人数

7050人

平成30年度調査実施地区の75歳以上総人数

1311人

《調査実施地区》

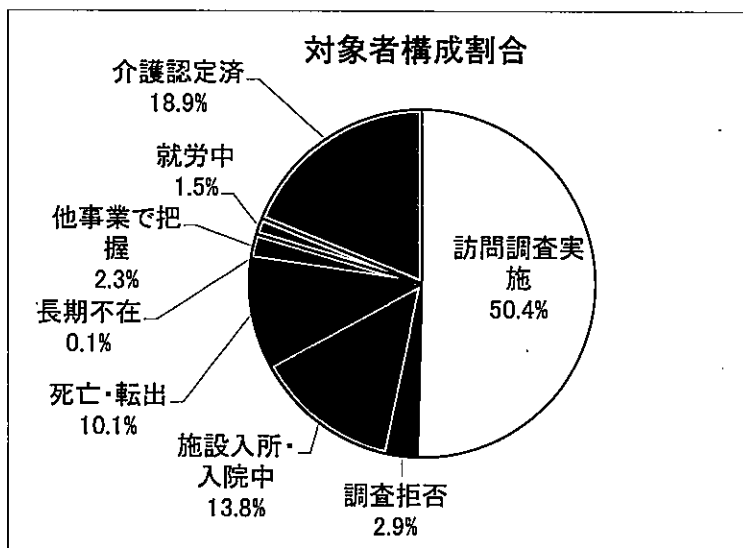
花月町、中島町、空知町、新町、流通団地、有明町、西滝川、文京町、本町、大町、栄町、明神町

・今年度は世帯構成に関係なく、30年4月1日現在満75歳以上の人を対象に訪問調査を実施。

介護サービス利用や入院・施設入所が明らかな場合は訪問せず。

	人数	世帯数	内訳		
			単身世帯	夫婦世帯	その他
総数	1,311	562	196	201	165
調査対象地区	花月町、中島町、空知町、新町、流通団地、有明町、西滝川、文京町、本町、大町、栄町、明神町				

○対象者構成割合

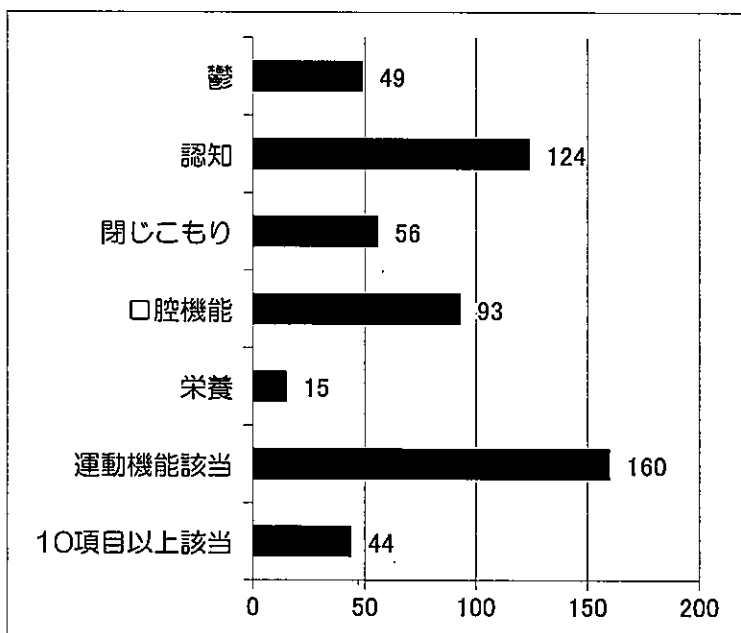


内訳	人数
訪問調査実施	661
調査拒否	38
施設入所・入院中	181
死亡・転出	132
長期不在	1
他事業で把握	30
就労中	20
介護認定済	248
総計	1,311

○二次予防事業対象者内訳

実数 280人

(調査実施者数の42.4%)

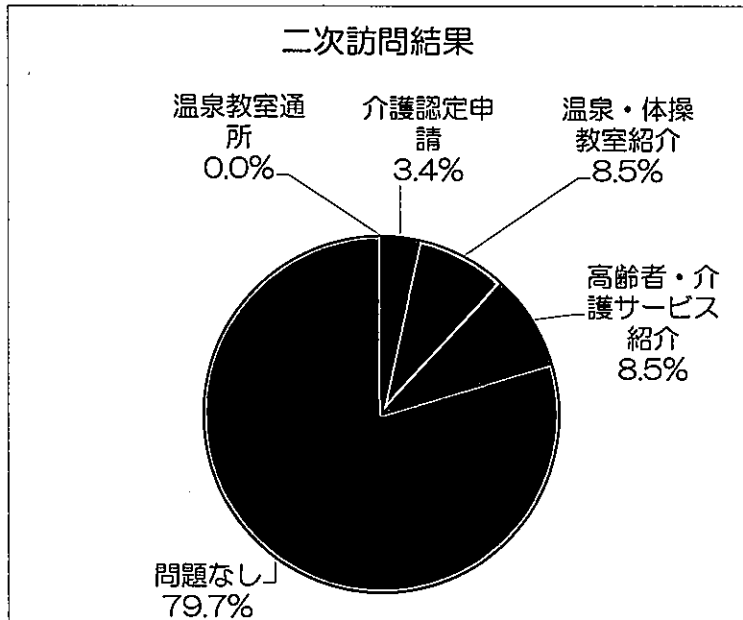


内訳(重複あり)	人数
10項目以上該当	44
運動機能該当	160
栄養	15
口腔機能	93
閉じこもり	56
認知	124
鬱	49

運動機能該当者が高い。

○二次訪問・電話

二次予防事業対象者のうち、介護予防事業(温泉教室・地域体操教室)通所の必要性がある人、介護・高齢者サービスの利用希望者、調査員が気になったケース59人に対し、地域包括支援センター看護師が訪問・電話かけを実施。



内訳	人数
訪問	11
電話	48
計	59

結果	人数
温泉教室通所	0
介護認定申請	2
温泉・体操教室紹介	5
高齢者・介護サービス紹介	5
問題なし	47
計	59

○まとめ

調査件数については、ほぼ例年並みの件数となっている。

今年度も緊急に対応が必要となる事例は見受けられず、訪問時には地域包括支援センターのパンフレットを渡し、相談窓口を紹介している。パンフレットをみて、地域体操教室の参加につながったり、調査対象の高齢者以外の家族についての相談を受けることもあり、必要時関係機関の相談へつなげている。

調査は基本チェックリストの他、外出状況確認の調査も継続して行っている。閉じこもり予防対策に活用するため調査を継続して経年で全地域の調査を行う。

平成31年4月～令和元年 9月 認知症初期集中支援チーム活動報告

1. チーム員会議の開催

会議実施数（単位：回・件）

	回数	検討事例数
31・元 年度前期	6	6
30年度 前期	6	6

事例の状況

	年齢	性別	世帯構成	相談者	支援経過
4月	82歳	女性	独居	次男の嫁	必要時家族や友人の助けを得ながら生活している。経過観察。
5月	84歳	女性	独居	消費者センター	地域体操教室通所。担当者との情報共有しながら経過観察。
6月	87歳	男性	独居	社会福祉協議会	家族と連絡を取り合いながら経過観察。
7月	92歳	男性	同居(妻)	ケアマネージャー	介護保険サービスは中断しているが、地域体操教室に参加。担当者との情報共有しながら経過観察。
8月	86歳	男性	独居	老人クラブ 物忘れ相談	家族との情報共有。外出が難しくなる冬に通所サービス勧奨予定。
9月	85歳	女性	同居(娘夫婦)	娘	専門医受診へ向けて介入予定だったが、自宅で転倒・骨折し入院。入院中に認知症の診断を受ける。リハビリ目的で入院中。

《医療受診について》

（単位：件）

すでに受診済	0
認知症と診断	1
現在の受診科で経過	5

《支援結果》

（単位：件）

支援終了	1
継続支援	5

29年度、28年度の検討事例について、家族やケアマネージャーからの相談を受け、同行訪問等の支援を行っている。

実件数 13例、延件数 21件

2. 普及・啓発活動

リーフレットを作成、認知症サポーター養成講座や出前講座の際に配布する他、介護福祉課の窓口に配置。

地域包括支援センターのパンフレットの中に「認知症の方と家族を支える取り組み」の一つとして掲載。パンフレットは高齢者実態調査の訪問時に配布。